

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

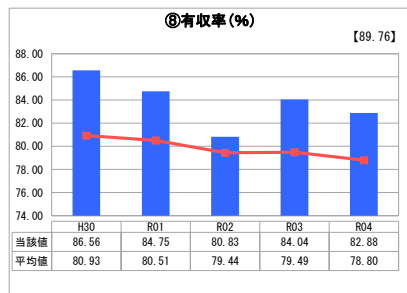
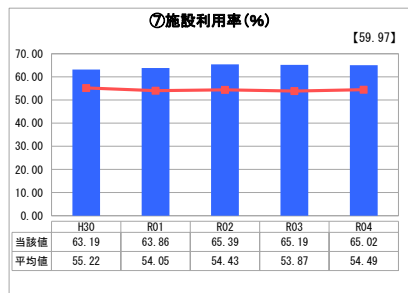
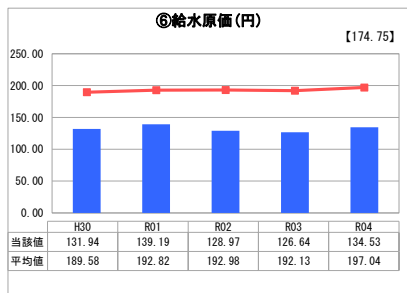
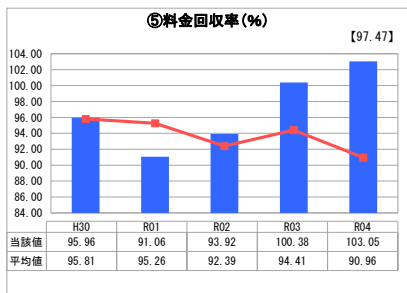
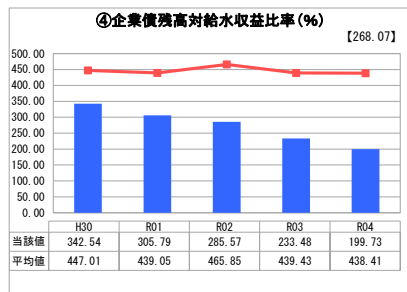
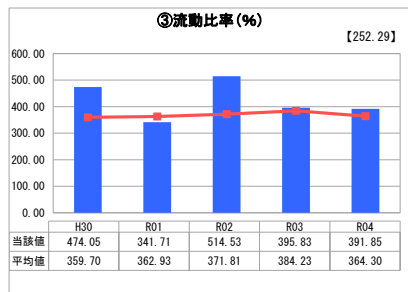
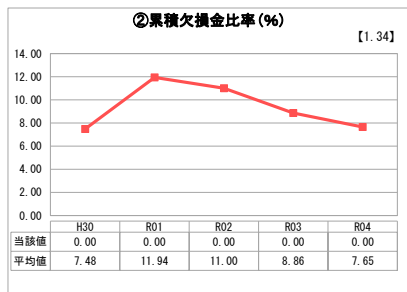
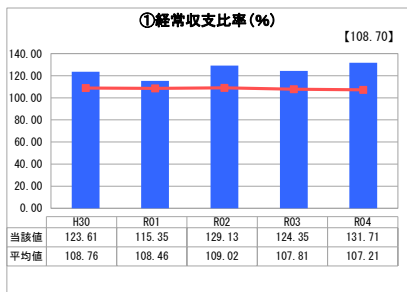
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	81.85	99.60	2,567	

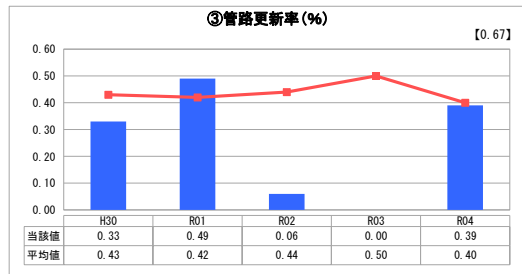
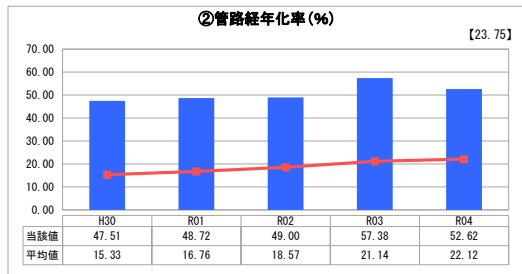
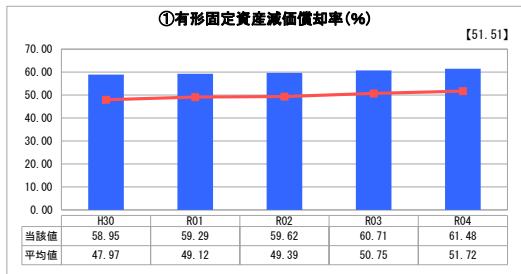
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,916	33.41	326.73
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,847	32.84	330.30

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
料金を改定したため、前年度に比べ増加している。一般会計からの繰入金で費用を賄っているため、今後も料金の見直しを検討する必要がある。
- ②流動比率  
工事などの未払金を計上したため、前年度に比べ減少している。計画的に工事の発注を実施する必要がある。
- ③企業債残高対給水収益比率  
新規の企業債の借入れ以上に償還が進んでいるため、前年度に比べ減少している。今後、更新投資の増加が見込まれるため、計画的に企業債の借入れを実施する必要がある。
- ④料金回収率  
料金を改定したため、前年度に比べ増加している。安定した経営を行うため、今後も料金の見直しを検討する必要がある。
- ⑤給水原価  
動力費や修繕費などの費用が増加したため、前年度に比べ増加している。維持管理費の削減を検討する必要がある。
- ⑥施設利用率  
施設の利用状況や規模が適正のため、類似団体平均値を上回っている。給水人口が減少傾向にあるため、施設の縮小化を検討する必要がある。
- ⑦有収率  
漏水が多発したため、前年度に比べ減少している。漏水防止対策を実施する必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
財源と人員の不足によって施設や管路の更新が遅れ、法定耐用年数に近い固定資産が増えているため、類似団体平均値を上回っている。水道ビジョンに基づき、施設や管路の更新を実施する必要がある。
- ②管路経年劣化率  
財源と人員の不足によって管路の更新が遅れ、法定耐用年数を経過した管路が増えているため、類似団体平均値を上回っている。水道ビジョンに基づき、管路の更新を実施する必要がある。
- ③管路更新率  
財源と人員の不足によって管路の更新が遅れているため、類似団体平均値を下回っている。水道ビジョンに基づき、管路の更新を実施する必要がある。

### 全体総括

経営の健全性・効率性については、類似団体平均値と比較して良い結果となった。令和4年10月に料金を改定したことにより、経常収支比率や料金回収率が増加しているものの、依然として一般会計からの繰入金に依存している。収支のバランスを考慮しつつ、給水収益のみで水道事業の経営を行うため、今後も料金の見直しを検討する必要がある。

老朽化の状況については、類似団体平均値と比較して悪い結果となった。有形固定資産減価償却率と管路経年劣化率が高く、管路更新率が低いことから、施設や管路の老朽化が進行していることがわかる。今後の施設や管路の更新なる老朽化に備えて、水道ビジョンに基づいた計画的な更新を実施する必要がある。